

保健師・社労士が連携支援

増幸産業（増玉県川口市、増田幸也社長）は、社員が年間の個人業務目標と併せて健康目標を設定し、健康づくりへの意識付けを行っている。ウォーキング大会や健康面談、人間ドック費用の全額負担などによる社員の健康増進にも取り組んでいる。2023年に経済産業省の「健康経営優良法人（プライト500）」に認定された。

増幸産業



22年10月に実施したウォーキング大会

（増田社長）とし、今後はメンタルケアにも注力する方針だ。（さいたま 菅瓜朋子）

社員の復職時の受け入れ方法を検討中だ」

これらの取り組みによりストレスチェックの結果に改善が見られたほか、酒量を減らすなど健康に気を配る社員が増えた。「精神面の問題で休職している社員は話す。増田社長は話す。増田社長自身もマラソンを趣味とし、普段から1日1



低年1回、健康診断結果に問題があった社員には複数回の面談を行い、社会保険労務士と連携して健康面をサポートする。「面談を通じて健康への関心が高まり、社員が歩くことを習慣づけたり、血圧など健康に関する会話をしたりするようになした」と是本喜三代総務部主任は話す。毎年10月に行うウォーキング大会では、チー